

震災により、外壁が剥離してしまった 土蔵の修復工事



二〇一一年三月十一日の東日本大震災により、土蔵が大きく揺れ外壁部分の漆喰が剥離、欠落した状態でお客様から現場調査、見積のご依頼を受けました。最初は、取り壊すしかないと思いましたが修復の方向でお話を進めました。



土蔵の壁をすべて撤去し、下地から作り直すことにしました。外壁に塗ってあった土の量は四トンダンプで五台程度に減りました。昔の左官職人はものすごい量の土を外壁に塗っていたのだと驚かされました。



再度大きな地震が来た場合にも耐えられるようにメタルラス及びファイバーメッシュを使用し、軽量モルタルで中塗りを取りました。仕上げは昔ながらの真っ白な漆喰で仕上げました。

特に今回の修復で左官の技術が活かされた部分は土蔵の窓扉部分です。卓越した技術がなければこのような土蔵の修復は不可能ではないでしょうか。



地震による内外壁のクラック(ひび割れ)などの修理はお気軽にご相談ください。 TEL 0287-37-0826